

## 編集後記

現在勤めている大学（兵庫県姫路市）に赴任してもうすぐ4年が経過しようとしています。最近、学生さんたちとの会話も多少は関西弁(?)になってきました。編集委員になって1年半、学会事務局がある名古屋までは新幹線で1時間30分程度と意外と近いのですが、最近は学内の会議等に編集委員会がぶつかってしまい、あまり貢献できておらず申し訳ない限りです。

さて、昨年2009年末に行われた事業仕分けにより、2010年度は科学技術関連予算にも大きな影響が出そうです。確かに内容が重複しているような研究予算もいくつかありますが、基礎学術研究に必要な予算や大型プロジェクト研究は将来を見据えて慎重に議論してほしいものです。特に兵庫県に関連するものとしては大型放射光施設Spring-8と次世代スーパーコンピュータがあり、後者は事業仕分けの象徴のように報道されておりましたが、これらが日本の将来にどのように貢献するのかを考える必要があります。一方で、大型プロジェクトや科学技術はその重要性が一般にあ

まり認識されていないことを改めて認識する機会でもありました。大型プロジェクトは現在進行形のものや計画段階のものだけとは限りません。身近なところで探せば、例えば姫路城も江戸時代の一大事業だったはずですが、今日では日本の美を伝える貴重な文化財であり、外国人観光客も多く訪れる観光資源になっています。このように大型プロジェクトには技術革新や伝統文化を後世に伝えるという役割を持っているとも言えるでしょう。ちなみに、姫路城は2009年から2014年まで大規模な改修工事(平成の大修理)に入りますので、2011年には外観が望めなくなります。その間、内部の見学は可能で、素屋根の壁面(幅47m、高さ40m)に実寸大の姫路城の線画が描かれるそうです。

編集委員の任期は残り半年ほど残っておりますが、これまでに担当させていただいた企画記事をご執筆いただいた著者の皆様、熱心に議論していただきました編集委員の皆様、そして事務局の皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。

(菊池祐介)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副 会 長	小川 雄一	藤山 寛	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 板垣 正文 (広告委員長) 坂本 慶司 寺井 隆幸 (編集委員長) 林 康明		疇地 宏 加藤 敬 笹尾眞實子 畑山 明聖 (広報委員長) 山崎 耕造 松尾 慶一		伊藤 早苗 (企画委員長) 近藤 光昇 (財務委員長) 佐野 史道 (出版委員長) 浜口 智志 (プログラム委員長)	
監 事	飯尾 俊二					

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸 (東大)

エディター 関子秀樹(九大)、田中雅慶(九大)、福山 淳(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)、行村 建

編集委員 石島達夫(名大)、市来龍大(大分大)、出射 浩(九大)、伊藤清一(広島大)、打田正樹(京大)、江原真司(東北大)、大谷寛明(核融合研)、神谷健作(原子力機構)、假家 強(筑波大)、菊池崇志(長岡技科大)、菊池祐介(兵庫県立大)、栗本祐司(シャープ)、近藤正聡(核融合研)、齋藤和史(宇都宮大)、坂本隆一(核融合研)、四竈泰一(京大)、高橋幸司(原子力機構)、田中康規(金沢大)、濱口真司(核融合研)、原 正憲(富山大)、東口武史(宇都宮大)、藤岡慎介(阪大レーザー研)、前原常弘(愛媛大)、三浦英昭(核融合研)、三宅弘晃(東京都市大)、宮本光貴(鳥根大)、森 道昭(原子力機構関西)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第86巻第2号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jpsf.or.jp URL: http://www.jpsf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2010年(平成22年)2月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。